

2011-B					
拠出金・基金の名称:		アジア大洋州地域青少年交流拠出金(キズナ強化プロジェクト)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局					
【所管官庁担当局課・室名】: アジア大洋州局アジア青少年交流室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 ASEAN加盟国をはじめとするアジア大洋州地域との間で約3万の青少年(中学生・高校生・大学生等)を招聘・派遣。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	2,541,489	-	-	円建て	100
平成22年度	-	-	-	-	-
平成21年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 東日本大震災からの復興のため、青少年交流を通じた日本再生に関する外国の理解増進及び風評被害に対して効果的な情報発信を行うことで日本産品の信頼回復・向上等を図るもの。招へい事業及び派遣事業がある。招へい事業では、ASEAN加盟国をはじめとするアジア大洋州地域の高校生・大学生等を日本に招へいし、東北地方の被災地の視察、交流プログラム、ボランティア活動等を通じ、日本の青少年やその他の人々との交流を深め、被災地の現状及び復興・再生に向けた活動の現状について正確に理解させ、復興に向けた日本の努力・活力を印象づける。また、被招へい者が帰国後も本邦滞在時に得た経験等を発表する機会を設け、被招へい対象者外への波及効果を狙う。派遣事業では、被災県の青少年を中心として高校生・大学生をASEAN加盟国をはじめとするアジア諸国へ派遣し、各国の青少年やその他の人々との交流を深めることを通じて、日本の現状を正確に伝え、再生へ向けた日本の努力を印象づける。以上のプロセスを通じ、日本再生に関する外国の理解を増進し、風評被害に対して効果的な情報発信を行うことで日本産品の信頼性回復・向上等を図る。					